

止水性を満足！

簡単な継手構造で、所要の耐震性能を満足！

経済性に優れる！

IB可とうボックスカルバート

(IBとは、Individual Blockの略称で個々のブロックを意味します)

IB10タイプ

IB50タイプ

概要

■IBボックスカルバートには抜け出し量の大きさにより、IB10、IB50の2タイプがあり、要求性能により使い分けが可能である。

- IB10 可とう性ボックスカルバート(耐震性管路としても使用可能※1)
- IB50 耐震性ボックスカルバート

■ボックスカルバート差し口にIB可とうゴム輪を取り付けただけの構造である。

■ボックスカルバート受口のコーナー部は、コーナパッドにより水密性を確保できる。

■据付けは標準ボックスと変わらない。(縦緊張不要)

■軟弱地盤にも対応が可能である。

※1 良質地盤の場合、耐震計算により抜け出し量・屈曲角が保証値以内であれば耐震性管路としても使用可能である。

特徴

■IB10タイプ

- 多くの実績を有する標準ボックスの継手形状・寸法を変更しないため、構造的に信頼性が高く、経済性に優れる。
- 適用範囲 呼び寸法1000×800～4000×2500※2
- (財)下水道新技術推進機構 建設技術審査証明を取得している。

※2 600×600～900×900の製造も可能である。

■IB50タイプ

- 継手寸法を長く変更することで、耐震性管路として使用可能とした。
- 「下水道施設の耐震対策と指針」(社)日本下水道協会発行で記述されている、レベル2地震動に対応可能である。
- 適用範囲 呼び寸法600×600～4000×2500

性能比較

	IB10タイプ	IB50タイプ	標準ボックス+内目地
構造	各々のジョイントの可動により対応。		各々のジョイントの可動により対応。 内目地に弾性シーリング材使用。
性能	レベル1,2地震動に対応。 保証拔出し量は、 10mm (L1,L2)	レベル1,2地震動に対応。 保証拔出し量は、 30mm, 50mm (L1,L2)	レベル1,2地震動に対応 保証拔出し量は、 目地幅の10%＝1.2mm (L1) ※3 20%＝2.4mm (L2) ※3
屈曲角	0.09°～0.27°	0.19°～0.67°	未確認

※3 シーリング材許容値は、日本シーリング材工業会の保証値

可とうボックスカルバート協会

事務局 〒113-0024

東京都文京区西片1-17-8 KSビル4F ジオスター株式会社内

TEL : 03-5844-1208 FAX : 03-5844-1221

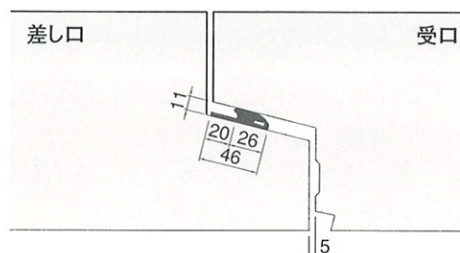
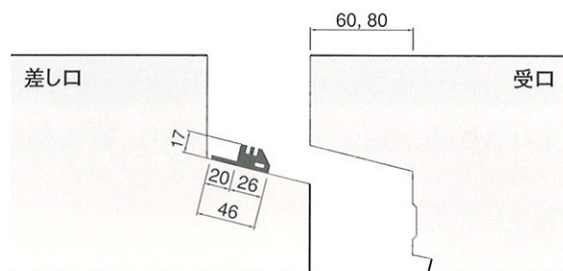
IB10タイプ

IB10 可とう性ボックスカルバート

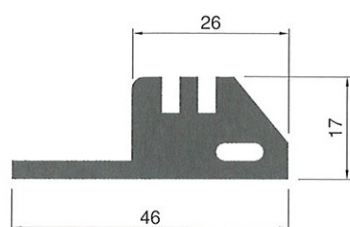
抜け出し量	10mm
屈曲角	0.09°~0.27°

■用途

耐震計算により求められた所要の変形性能が、IB10の保証値以内である管路。



■IB可とうゴム輪



コーナーパッド



IB可とうゴム輪

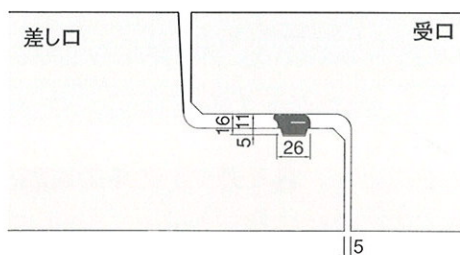
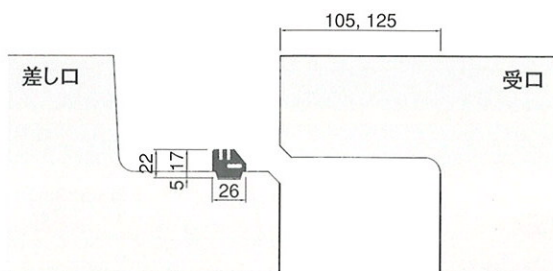
IB50タイプ

IB50 耐震性ボックスカルバート

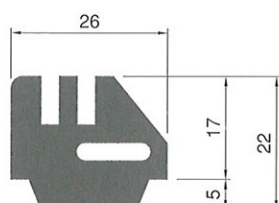
抜け出し量	30mm, 50mm
屈曲角	0.19°~0.67°

■用途

重要な幹線等で、高い耐震性能が要求される管路。



■IB可とうゴム輪



コーナーパッド



IB可とうゴム輪